

ユネスコ・デザイン都市・神戸  
issue+design 10周年記念

## SDGs×地方創生WORKSHOP

みんなで考えよう、  
持続可能な神戸の未来



SDGs (エス・ディー・ジーズ) って何だろう？

名前だけは最近よく聞いたことがある、という人もいるかも知れません。SDGsとは、2030年に向け、環境や教育など世界各国の課題を解決するために、国連が掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs; Sustainable Development Goals)」のことです。世界各国、日本の各地域、企業、市民それぞれが、17のゴール目標の達成に向けた行動が求められています。本ワークショップでは、地域で暮らす市民、事業者、NPO、自治体など地域の様々なステークホルダーの立場でSDGsの目標実現に向けたプロセスを疑似体験できるカードゲームを楽しみながら、SDGsの基本的な知識や実践に向けた行動スキルを学びます。そのうえで、参加者の皆さんと一緒に持続可能な神戸の未来を考えていきます。SDGsの世界をのぞいてみたいという方は是非お申込みください！

会 場 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 303会議室  
日 時 | 2018年10月7日(日) 13:30-16:30 (13:00開場)  
定 員 | 40名  
参 加 費 | 無料

## タイムテーブル（予定）

- 13:30 ご挨拶（神戸市）
- 13:40 SDGs（持続可能な開発目標）とは（登壇者：issue+design 代表 笥 裕介）
- 14:05 SDGs×地方創生GAME体験会とは（登壇者：プロジェクトデザイン 代表取締役 福井 信英）
- 14:30 ゲーム実施
- 15:40 ゲーム振り返り「持続可能な神戸の未来とは」
- 16:20 まとめ
- 16:30 終了



## 登壇者紹介



issue+design  
代表

笥 裕介  
yusuke kakei

1975年生まれ。一橋大学社会学部卒業。東京大学大学院工学系研究科修了（工学博士）。2008年 issue+design 設立。以降、社会課題解決、地域活性化のためのデザイン領域のプロジェクトに取り組む。著書に『ソーシャルデザイン実践ガイド』『人口減少×デザイン』『震災のためにデザインは何か』など。代表プロジェクトに、震災ボランティア支援の「できますゼッケン」、育児支援の「親子健康手帳」、300人の地域住民と一緒に描く未来ビジョン「高知県佐川町・みんなで作る総合計画」など。グッドデザイン賞、日本計画行政学会・学会奨励賞、竹尾デザイン賞、カンヌライオンズ（仏）、D&AD（英）Shenzhen Design Award 2014（中）他受賞多数。



株式会社プロジェクトデザイン  
代表取締役

福井 信英  
nobuhide fukui

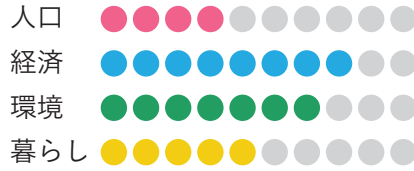
富山県滑川市出身。慶應義塾大学商学部卒業。東京で経営コンサルティング会社、人材ベンチャー企業勤務を10年間経験した後、「育ててくれた地元のために何もしていない自分」に問題意識を感じ、2010年富山県滑川市に戻り起業。「地方から世界に通用するコンテンツを自分のできることで産み出す」ことを目指し、ゲーム型研修コンテンツの制作・実施に特化した事業を立ち上げ、「The商社」「2030SDGs」「働き方改革ゲーム」など、国内外問わず多くの企業・官公庁で導入される研修コンテンツを開発する。現在は、立山山麓の豊かな森林資源を活用した、和のエッセンシャルオイルの抽出・加工・販売事業なども手がけ、地元での雇用創出の動きを拡大している。

主催：issue+design 実行委員会  
共催：神戸市  
協力：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）  
お問い合わせ：Mail [info@issueplusdesign.jp](mailto:info@issueplusdesign.jp)  
Web <http://issueplusdesign.jp>

  
United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization  
City of Design  
KOBE   
Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008

  
大学都市  
KOBE

地域のゴール



3. 参加者全員で、地域のゴールを達成する

- 1. お金・人資源・情報を交換し、プロジェクトを実行する
- 2. プロジェクトの実行を重ね、個人のゴールを達成する

